



議員 山崎 泰昌 (政和会)

## 問 未整備の町内インフラ対応は

## 答 田の浜低地部は早急に維持補修



台風19号で被災した法面

一般質問

**問** 大浦第一団地に接する道路が応急復旧のまま3年以上経過している。どのような対応を考えているのか。  
**佐藤町長** 法面保護工事の実施を検討しているが、本年度内の着工

を目指し進めていく。  
**問** 田の浜にある「どどっ鼻」から船越魚市場までの道路は防潮堤整備のために震災以降整備されてこなかった。今後の整備内容は。  
**佐々木建設課長** 舗装面だけでなく路盤も損傷している可能性もあるので、全面調査を行った上で、早期の事業化を図りたい。  
**問** 田の浜低地部でも路面の劣化や老朽化が進んでいるが対応は。  
**建設課長** 町道金浜線やわかき線においても、路面の状況を確認しており、補修が必要な箇所については早急に対応する。  
**問** 新しい道路と既存の道路との接続部分の損傷がひどいが対応は。  
**建設課長** 早川地区や女川周辺の損傷箇所については、住民の利便性を考慮し改良復旧を行う。

**問** 震災後、新しく造った大浦消防屯所脇の道路や長林の町有地の草木が伸び、電波障害などの事案が起きていると聞くが対応は。  
**甲斐谷副町長** 確かに管理の行き届いていないところがある。各課で点検し、できるものはすぐやり、事業費のかかるものは計画的にやっていきたい。  
**問** ゴミ収集において高齢化や地理的要因で

## 問 水産業支援策は

## 答 町単独でも行う

ゴミステーションまで運べない方がいるようだが、現在のシステムを変えすべしと考えるがどうか。  
**佐々木町民課長** 国からも3種類のモデルケースが示されている。当町の実情に合うモデルを調査し、検討したい。

**問** アワビの種苗放流事業において今年度の県補助金が減額された。県の動向に左右されず、基幹産業を守るべきと考えるが。  
**町長** 町が実施するアワビ等種苗放流事業は当初予算から減額することなく実施している。  
**問** 「作業保管施設衛生管理強化改修支援事業」において、カキ以外の水産物にも使用できるのか。  
**町長** 県宮古保健所によると、魚種や営業形態によっては追加の設備等の整備を求める場合もあり、個別に相談が必要とのことである。

その他の質問

◆不正入札の調査状況は